

税法 I

科目ナンバリング PUL-303
選択 2単位

吉田 貴明

1. 授業の概要(ねらい)

私たちが日々暮らしていくうえで、租税は密接に関係しています。買い物をするときには消費税の存在を織り込みますし、アルバイトをしすぎたときには所得控除の対象から除外されることを懸念するでしょう。このように、租税を避けて社会生活を営むことはできないと言っても、過言ではありません。しかし、身近にある租税について、私たちは十分に理解できていますでしょうか。そもそも、私たちはなぜ租税を納めているのでしょうか。

この科目では、このような租税の意義とともに、わが国における租税法規、とりわけ所得税法の規定する個人所得課税制度の基本的なしくみについて、判例を参照しながら講義していきます。

2. 授業の到達目標

この科目は、租税法に関する「基本的な知識」に基づき「論点を把握する」能力を修得することを目的とし、以下の2点を目標とします。

- ①租税法の基礎理論および所得税法の基礎概念を理解すること。
- ②租税行政をめぐる諸問題について、判例・学説の考え方に基づいて法的な論点を整理できるようになること。

3. 成績評価の方法および基準

小テストおよびレポートにより評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

中里実ほか編 『租税法概説』（有斐閣）

参考文献

中里実ほか編 『租税判例百選』（有斐閣）

中里実=増井良啓 『租税法判例六法』（有斐閣）

佐藤英明 『スタンダード所得税法』（弘文堂）

金子宏 『租税法』（弘文堂）

浅妻章如=酒井貴子 『租税法』（日本評論社）

小塚真啓編著 『高校生のための税金入門』（三省堂）

5. 準備学修の内容

テキストに従って講義を進めていくため、基本的にはテキストを用いて予習・復習を行ってください。

- ・予習…テキストの指定範囲を読み進め、わからない用語等があれば参考文献等で確認しておいてください。
- ・復習…理解が十分でない点を中心に、テキスト、ノートや参考文献等により見直してください。

6. その他履修上の注意事項

- ①テキスト・参考文献については、いずれも最新版を用意してください。
- ②コンパクトサイズの六法には、租税法規が掲載されていません。そのため、授業には、『租税法判例六法』等の租税法規が掲載されている文献を持参したり、インターネット等で閲覧する準備をするなど、適宜条文を参照できるような態勢を整えてから授業に臨んでください。
- ③憲法や民法等基幹科目に係る理解を前提とする項目があります。各自において適宜復習してください。
- ④行政法、会社法等の法律科目の知識を必要とする項目があります。これらの科目を事前に、または、並行して履修することが望ましいでしょう。

7. 授業内容

- | | |
|--------|--------------------------|
| 【第1回】 | イントロダクション…租税の意義、租税法を学ぶ意味 |
| 【第2回】 | 所得概念 |
| 【第3回】 | 課税単位 |
| 【第4回】 | 利子所得、配当所得、山林所得、不動産所得 |
| 【第5回】 | 譲渡所得 |
| 【第6回】 | 給与所得 |
| 【第7回】 | 退職所得、事業所得、一時所得、雑所得 |
| 【第8回】 | 収入金額と収入の時期 |
| 【第9回】 | 必要経費 |
| 【第10回】 | 所得控除 |
| 【第11回】 | 現代国家と租税制度 |
| 【第12回】 | 租税法主義・租税公平原則 |
| 【第13回】 | 租税法の解釈 |
| 【第14回】 | 総括…租税法序説・所得税法 |
| 【第15回】 | 補論…所得税制度の実相(オンライン) |